

日 時 令和3年11月10日(水) 10時30分～11時15分

開催形態 オンライン (Zoom) 開催

出席者 古澤研究科主任、松村、岡地、青山、高崎、久保川、丸川、小島、首藤、白谷、大森、佐藤
各委員

欠席者 星研究科長

I. 報告事項

1. 教育運営委員会学部・大学院教育部会について

古澤研究科主任から、10月11日及び11月8日開催の教育運営委員会学部・大学院教育部会において、以下のとおり報告があった。

10月11日開催分

- ・資料5のとおり、正課外教育におけるワークルール教育教材作成及び実施について、学生への周知依頼があった。ITC-LMSから受講可能。現在、今年度末の公開を目指し、社会人編を作成中である。
- ・資料7-3のとおり、大学院入試について、今年度夏実施分における入試ミスの報告があった。なお、資料の取り扱いにはご注意ください。

11月8日開催分

- ・資料3のとおり、令和4(2022)年度における授業時間について、原則として、今年度と同様に105分または90分授業とすることが承認された。
 - ・資料4のとおり、海外からのオンライン授業の履修及び外国の大学が行うオンライン授業の履修と単位の修得について、研究科において教育上有益と判断する場合は、留学期間中に本学開講のオンライン授業を履修することができる旨の申し合わせが承認された。
 - ・資料6のとおり、教育システム整備検討ワーキンググループ委員について、資料6-参考のとおり、先月の学部・大学院教育部会にてWG設置が認められ、本研究科からは稲水教授が委員となる。
- ### 2. 大学院学生の入学について
- 古澤研究科主任から、10月入学者数及び11月1日現在の学生数について報告があった。
- ### 3. 学生の休学について
- 古澤研究科主任から、修士課程学生2名から10月1日付休学について報告があった。
- なお、平成27年度に東京大学組織規則改正に伴い、教育会議審議事項から「学生の身分に関する事項(退学、休学、留学、学籍延長)」は削除され、全学的には報告事項となった。しかし、本研究科では「退学」のみを報告事項として、その他は引き続き審議事項としていた。については、今月より、学生の身分の重要事項(懲戒関係等)以外の定例事項(休学、留学、学籍延長)については全て報告事項とする旨、併せて報告があった。
- ### 4. 学位論文(課程博士)の審査委員会委員並びに主査の選出について
- 古澤研究科主任から、3件の審査委員会委員並びに主査の選出について報告があった。
- ### 5. 先端経済国際卓越大学院プログラム(修士課程短縮修了コース)の辞退について
- 古澤研究科主任から、先端経済国際卓越大学院プログラム短縮修了コース生である修士課程学生1名の12月実施1月支給分以降の卓越RAの支給停止について報告があった。

II. 協議事項

1. 令和3年度第6回本研究科教育会議抄録（案）について
原案のとおり議決した。
2. 令和4年度本研究科授業日程（案）について
大森カリキュラム委員長から、令和4年度本研究科授業日程（案）について説明があり、原案のとおり議決した。
引き続き、古澤研究科主任から、令和4年度社会人特別選抜入学者のための土曜日授業日程（案）について説明があり、原案のとおり議決した。
3. 令和4（2022）年度経済学研究科主要日程（案）について
古澤研究科主任から、令和4（2022）年度経済学研究科主要日程（案）について、今年度からの主な変更点について説明があり、原案について各コースで検討のうえ、意見があれば11月末日までに大学院担当まで申し出ることとし、次回本会議で再度審議を行うこととした。
4. 研究指導委託の申請について
古澤研究科主任から、博士課程学生1名の研究指導委託について説明があり、申請のとおり議決した。
5. 令和4年度修士課程入学許可内定者の名目上指導教員の決定について
古澤研究科主任から、令和4年度修士課程入学許可内定者の名目上指導教員の決定について説明があり、原案は入試の主査を入学許可内定者の名目上指導教員としているので、不都合がある場合はコース代表に申し出て調整のうえ、大学院担当に連絡する手続きとすることを議決した。結果は次回本会議で報告する。
6. 学位論文（修士）の審査副専攻・コースの選定について
古澤研究科主任から、学位論文（修士）の審査副専攻・コースの選定について説明があり、原案のとおり議決した。
7. 学位論文（課程博士）の審査副専攻の選定について
古澤研究科主任から、学位論文（課程博士）2件の審査副専攻の選定について説明があり、原案のとおり議決した。
8. 令和4年度本研究科授業科目表（案）について
大森カリキュラム委員長から、令和4年度本研究科授業科目表（案）について説明があり、原案のとおり議決した。
9. 東京大学大学院経済学研究科規則別表の改正について
大森カリキュラム委員長から、社内イノベーターコースの廃止に伴う本研究科規則別表の改正について説明があり、原案のとおり議決した。
10. 大学間学生交流協定に基づく特別聴講学生の受入について
古澤研究科主任から、特別聴講学生3名の受入れについて説明があり、原案のとおり議決した。
11. 令和4年度先端経済国際卓越大学院プログラムについて
古澤研究科主任から、資料16-1について、次年度の先端経済国際卓越大学院プログラムのコース別指定科目を各コースで確認のうえ、変更がある場合には、11月末日までに大学院担当へ届け出ることとし、次回本会議で再度審議を行うこととした。
また、資料16-2及び16-3について、本部の規則に併せた改正である旨の説明があり、原案のとおり承認された。

III. その他

1. 授業目的公衆送信補償金制度に関する利用報告への協力について

古澤研究科主任から、授業目的公衆送信補償金制度に関する利用報告の内容について説明があり、調査回答方法の詳細を決定次第、改めて通知する旨の報告があった。

2. 次回開催日程について

今後の教育会議の開催について、次のとおり確認された。

臨時教育会議	11月24日（水）拡大入試委員会終了後、16：10～（予定）
教育会議	12月8日（水）10：30～